

Tomorrow, Together

KDDI

おもしろいほうの未来へ。

au

2020年3月期決算

(2019年4月-2020年3月)

2020年5月14日

KDDI株式会社

代表取締役社長 高橋 誠

5G、はじまる。

au 5G

新型コロナウイルス感染症対応 基本方針

- 1 お客さまおよび当社・関係各社の従業員の安全を最優先に確保します
- 2 増加する通信トラフィックに対応し、社会の基盤・ライフラインである通信サービスを維持します
- 3 政府・自治体・公共団体などの取り組みに積極的に協力します
- 4 テレワーク・オンライン教育・遠隔医療など、個人・法人のお客さまのDXを推進し、環境変化に強いレジリエントな社会基盤の構築に貢献します
- 5 生活の不安・困難を減らし心を満たせるようなお客さま体験を提案します

通信・サービスを通じ、社会・生活の安定に貢献します

新型コロナウイルス感染症対応

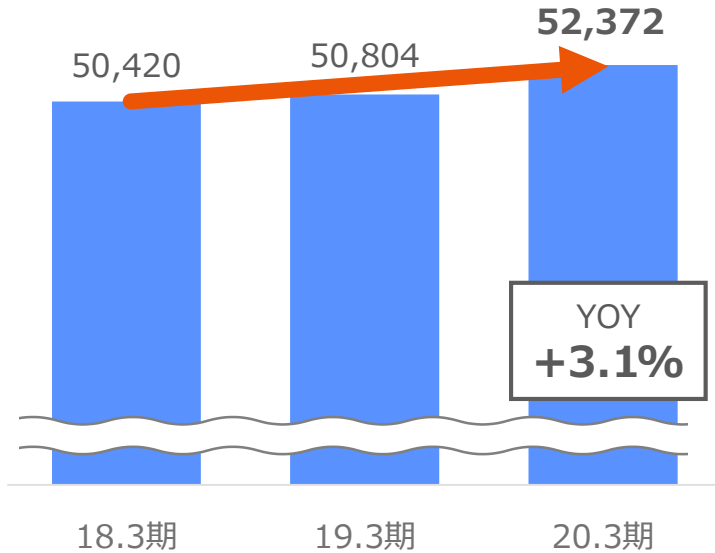
1	お客さまおよび従業員の安全	ショップの安全対策	受付カウンターにパーテーションの配備による飛沫感染の防止や消毒液や販売スタッフ用のマスク配備による衛生管理の徹底
		テレワークの徹底とコールセンター他の安全徹底	全国の事業所において、衛生管理の徹底に加え、重要業務要員以外はテレワークを実施
2	通信サービスの維持	運用監視	ピーク時間帯（モバイル・固定含む）で最大1割程度のトラフィック増が見られる中、通信品質を維持するため運用監視を継続実施
3	政府・自治体への協力など	位置情報データを利用した人口変動分析レポートの提供	粒度の細かいデータ分析で緊急事態宣言前後の人々の動きを可視化し、全国の自治体へ無償提供を実施
		お支払い期限の延長	当社が提供するサービスのお客さまにおいてお支払い期限を延長
		中央共同募金会への寄付	社会福祉法人中央共同募金会の赤い羽根「臨時休校中の子どもと家族を支えよう 緊急支援募金」へ、2020/3/31に1億円の支援金を寄付
		auショップの営業時間短縮	総務省からの感染拡大防止に関わる取り組み強化の要請を受け、全国のauショップの営業時間を短縮
4	DX推進による社会基盤構築	オンライン教育に向けた支援	EdTechベンチャー企業であるメイツと家庭学習支援サービスの提供を開始
5	生活の不安低減	ブックパス読み放題プランの無料提供	一斉休校・テレワーク・外出禁止の状況を受け、2つの読み放題プラン（総合コース/マガジンコース）を5月末まで無料で提供

20.3期 連結業績ハイライト

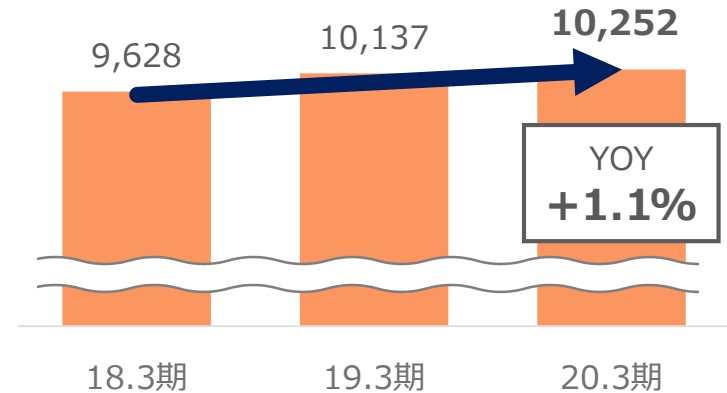
The image features a central vertical bar composed of two parallel lines, one blue and one orange. At the bottom of this bar, a bright, multi-colored light source (resembling a sun or star) emits a strong glow, creating a lens flare effect. The background is a dark blue gradient with a faint, stylized globe of the Earth visible at the bottom, showing blue oceans and white clouds. The overall aesthetic is modern and corporate.

20.3期 連結業績ハイライト

売上高 (単位：億円)



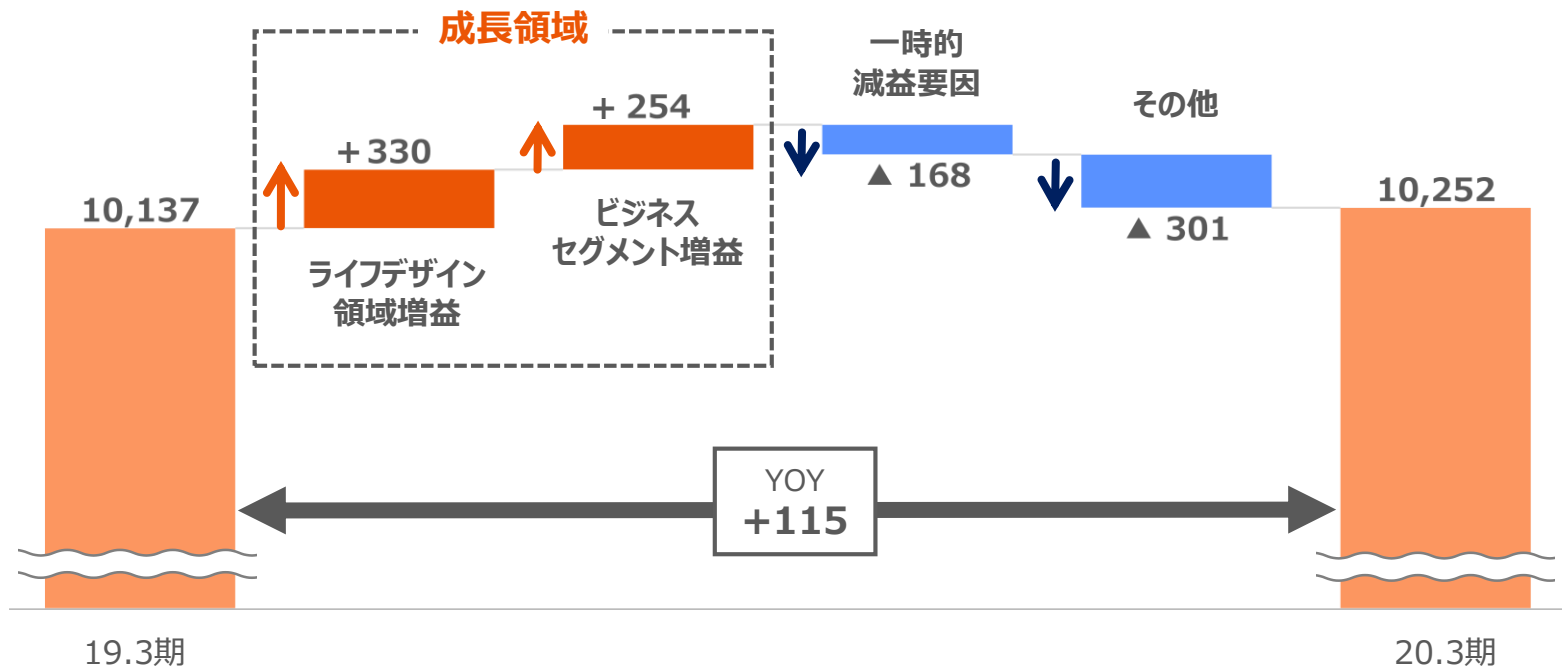
営業利益 (単位：億円)



增收増益を達成

20.3期 連結営業利益 増減要因

(単位：億円)



持続的成長に向け着実に推進

事業戦略



お客さま本位の価値提案へ

グループID

au

UQ mobile

BIGLOBE mobile

J:COM MOBILE



エンゲージメント



総合ARPU



お客さま推奨度(NPS*)の向上

ピカピカのネットワーク

使いやすい料金プラン



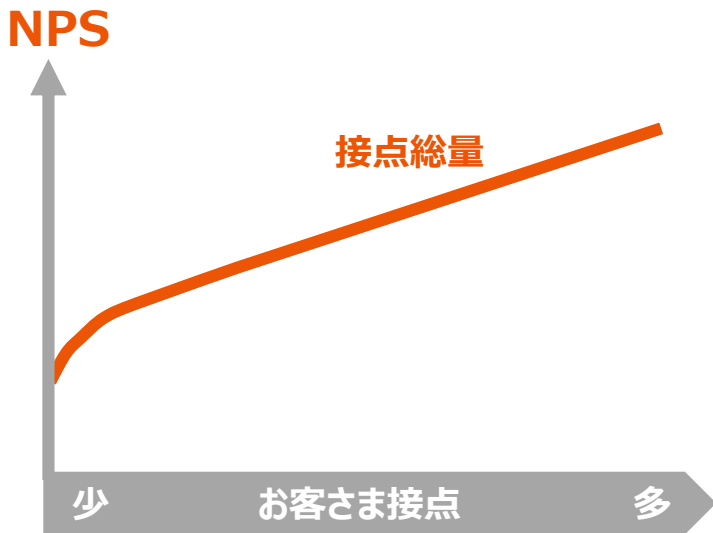
ワクワクするコンテンツ

魅力あるデバイス

お客さまとの信頼関係構築を第一に事業を展開

エンゲージメントの向上

お客さま接点とNPSの相関



接点拡大によるエンゲージメント向上

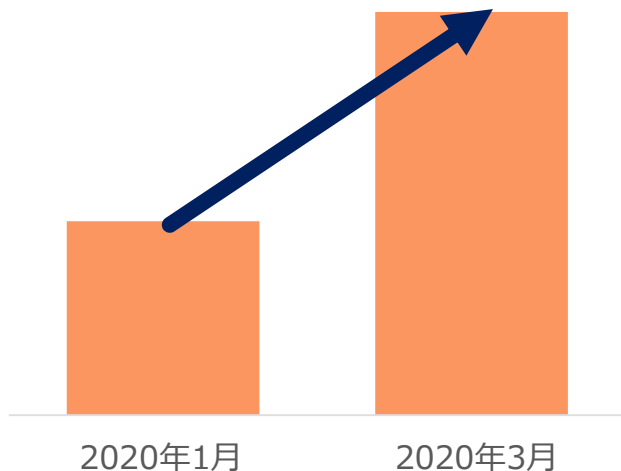


お客さま接点の拡大により強いエンゲージメントを構築

au PAY

決済件数

キャンペーン*前後で2倍超の増加



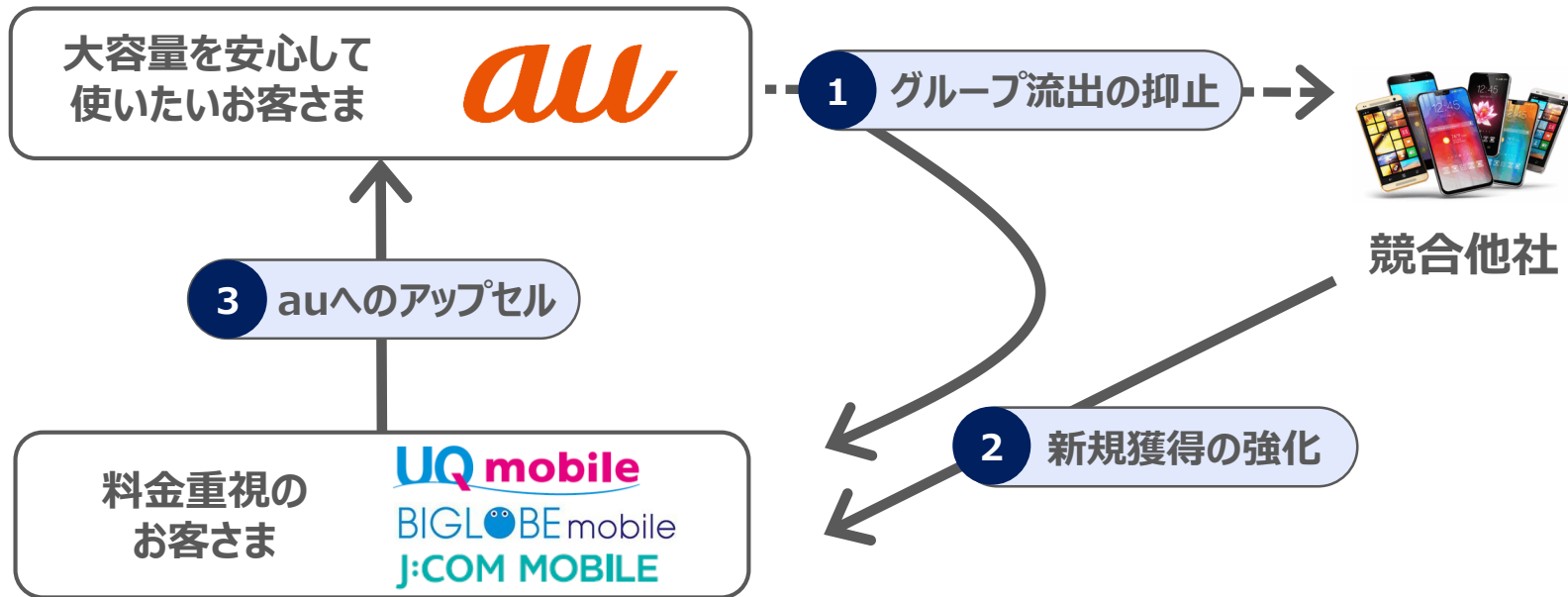
ポイントをPontaポイントと統合
ローソンとの提携を本格化
(2020年5月末予定)



国内最大級の1億超の会員基盤へ
スマホ決済・ポイント利用加盟店の拡大

決済件数は大きく増加。接点拡大への取り組みを推進

グループ全体でのID基盤強化



幅広いニーズに対応し、グループ総力でモメンタムを強化

au

UQ mobile

営業体制の強化



- ✓ 「au」と「UQ mobile」
全国の営業体制・販売
チャネルの再編、統合

新たな価値の提供



- ✓ 両ブランドの特色を生かし
お客さまのニーズに合った
わかりやすいサービスの提供

事業の効率化



- ✓ 重複業務や運営の効率化
- ✓ 5G本格化に向けた
経営資源の効率化

グループ経営資源の集約による競争力の強化を目指す

UNLIMITED WORLD *au* 5G

フラッグシップモデルに加え、ミドルレンジモデルまで幅広く提供



XPERIA 1 II

Galaxy S20 5G

Galaxy S20+ 5G

AQUOS R5G

OPPO Find X2 Pro

Mi 10 Lite 5G

ZTE ai

4/1から対象機種ご購入で機種代金から

au Online Shop お得割

最大 **22,000** 円 割引^{*} (税込)

魅力的なデバイスにより5Gへの移行を促進

*期間中、新規契約（他社からお乗りかえ含む）または機種変更（12カ月目以上ご利用）で対象機種をご購入いただく場合が対象。

対象機種はXPERIA1 II、Galaxy S20 5G、Galaxy S20+ 5G及びAQUOS R5G（2020/5/14時点）

注）5Gは一部エリアでの提供です。対応エリアや5G対応スマートフォンの発売日についてはauホームページでご確認ください

UNLIMITED WORLD *au* 5G

4G LTEの料金水準(2年間)*1と5G独自のプランにより移行を促進

データMAX 5G Netflixパック

2020年6月以降提供開始

データMAX 5G ALLSTARパック

エンタメをリードするトップパートナー

NETFLIX

Apple MUSIC

YouTube Premium

TELASA

AUGMENT (拡張) 体験のパスポート

auスマートパスプレミアム*2

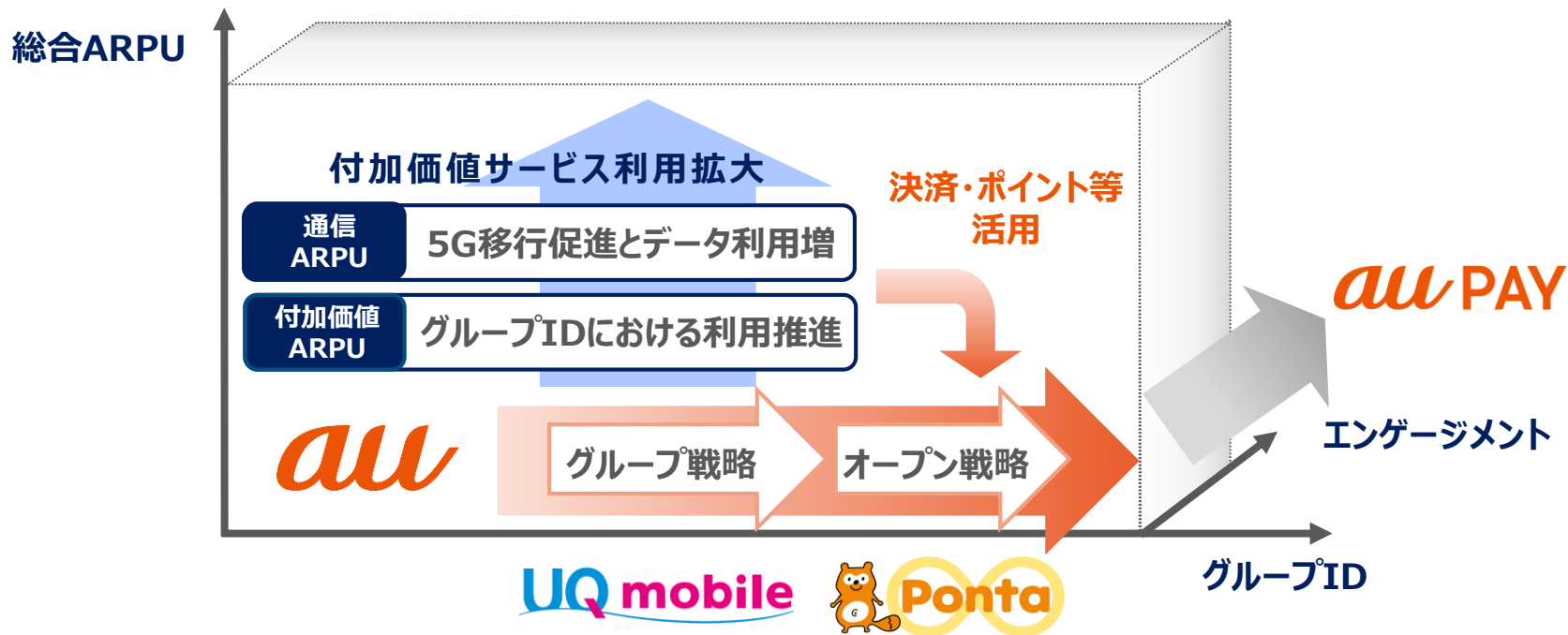


© tv asahi

付加価値サービスを組み込んだ独自の料金体系で提供

*1) 5Gスタートキャンペーン受付期間は2020/8/31まで *2) 月額499円(税抜)。各コンテンツは順次開始予定
注) 5Gは一部エリアでの提供です。詳しくはauホームページでご確認ください

成長領域のさらなる拡大へ



ARPU成長施策とオープン戦略の推進により拡大

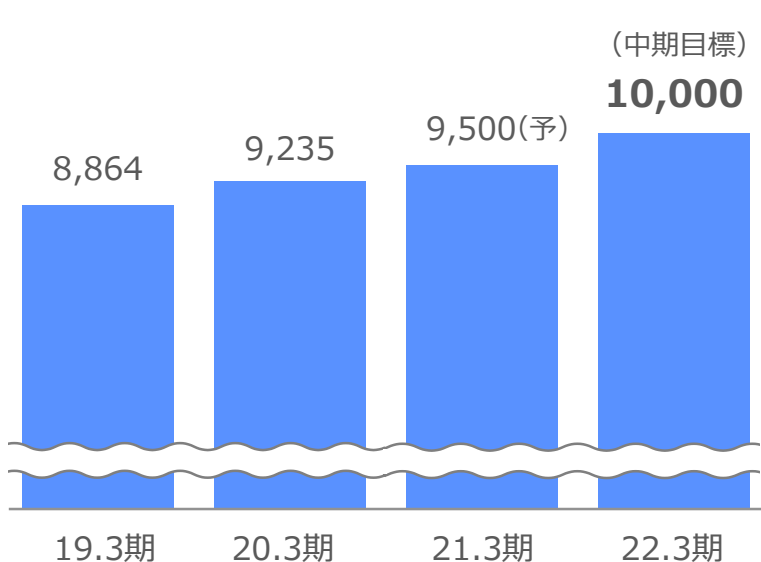
中期目標に対しての進捗

	19.3期	20.3期 (中期進捗)	21.3期(予)	22.3期(目標)
ライフデザイン領域 売上高(億円)	9,460	12,180 49%	12,900	15,000
決済・金融取扱高 (億円)	44,240	65,370 134%	68,000	60,000

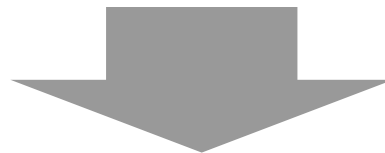
順調に進捗。決済・金融取扱高は大幅に成長

ビジネスセグメント

売上高 (単位：億円)



お客さまDXの推進



① 基盤事業

既存通信事業

② 新規領域

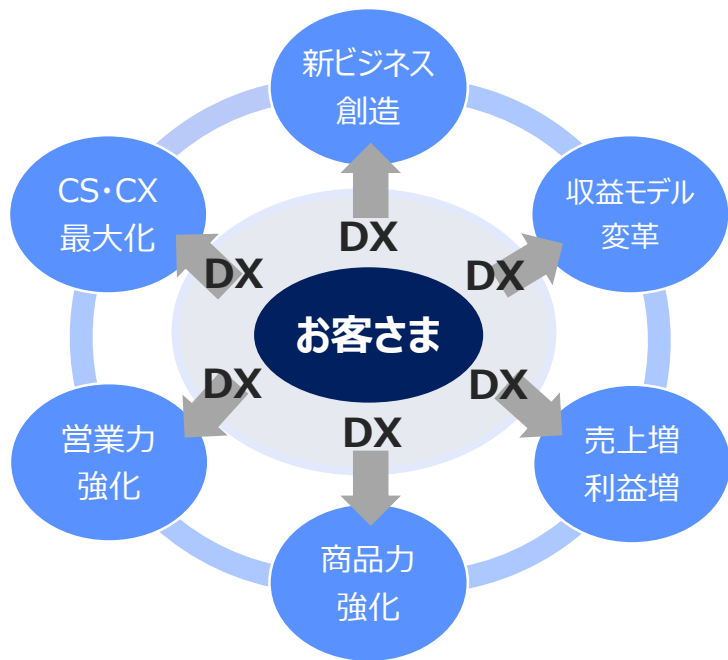
IoT/5G事業

国内外グループ会社

両領域における事業成長へ

お客さまDXの推進で基盤事業・新規領域の成長を目指す

お客さまと共にDXで新たな価値を創る



5G・AIを活用し、安全で生産性の高い次世代物流センターの実現へ



 **日立物流**

物流は新領域へ
LOGISTEED

通信・AIを活用した業務効率化
「KDDI ガスプラットフォームサービス」



Obbli 三愛石油株式会社

環境変化に強いレジリエントな基盤づくりへ貢献

中期目標に対しての進捗

	19.3期	20.3期 (中期進捗)	21.3期(予)	22.3期(目標)
ビジネスセグメント 売上高(億円)	8,864	9,235 33%	9,500	10,000
IoT累計回線数 (万回線)	800	1,150 35%	1,500	1,800

順調な進捗。IoT回線数は計画を上回って推移

21.3期 連結業績予想



21.3期 連結業績予想

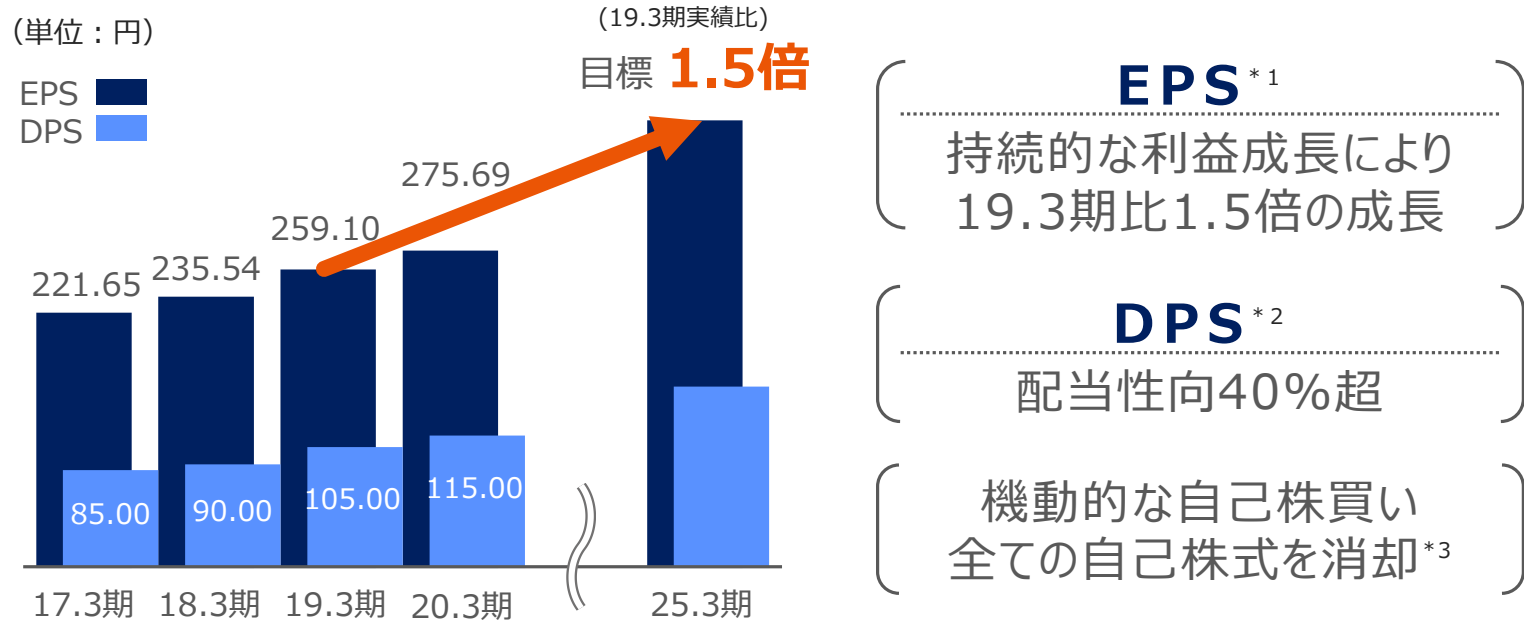
現時点で見通せる新型コロナウイルス感染症影響は織り込んだものの、先行きの情勢を慎重に見極めつつ精査を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症対応基本方針に基づき、社会・生活の安定に貢献し、業績予想および中期経営計画の達成を目指します。

売上高・利益ともに前年度同水準を予想

売上高	52,500億円	営業利益	10,300億円
親会社の所有者に帰属する当期利益			6,400億円

事業戦略の推進、経営基盤の強化に取り組む

中期経営計画の振り返り



引き続き「持続的成長と株主還元強化の両立」を目指す

*1) Earnings Per Share 1株当たり純利益 *2) Dividend Per Share 1株当たり配当金 *3) 役員報酬BIP信託口及び株式付与ESOP信託口が保有する当社株式を除く

KDDI Sustainable Action

～私たちの「つなぐチカラ」は、未来のためにある。～

命をつなぐ

災害対策・通信基盤
の強靱化



地球環境の保全



暮らしをつなぐ

地方・都市の
持続的発展



途上国の基盤整備



次世代の育成



心をつなぐ

安心して豊かな
デジタル社会構築



多様性の尊重



健康・生きがいづくり



パートナーシップ



事業に根差した活動によりSDGsの取り組みを加速

外部評価

イノベーション



ILS (イノベーションリーダーズサミット) 実行委員会
「イノベティブ大企業ランキング」
2年連続1位獲得



Morning Pitch
「大企業イノベーションアワード」
1位を受賞

サステナビリティ

グローバル



FTSE4Good



国内



FTSE Blossom
Japan

2020 CONSTITUENT MSCI ジャパン *
ESGセレクト・リーダーズ指数



2020 CONSTITUENT MSCI 日本株 *
女性活躍指数 (WIN)

引き続き社会の期待に応えられる企業を目指す

安心な国民生活と経済回復に向けて

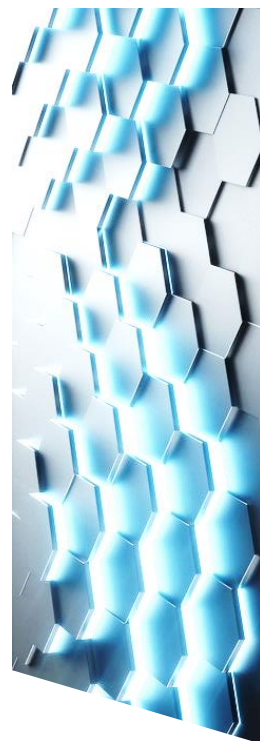
国民生活と経済活動を維持する強靱なネットワーク整備

- テレワーク・オンライン教育・遠隔医療を支えるネットワークの増強
- インフラシェアリングを活用した5Gの早期全国展開
- グローバル水準の先端技術導入と国内ダイバーシティネットワークの確立

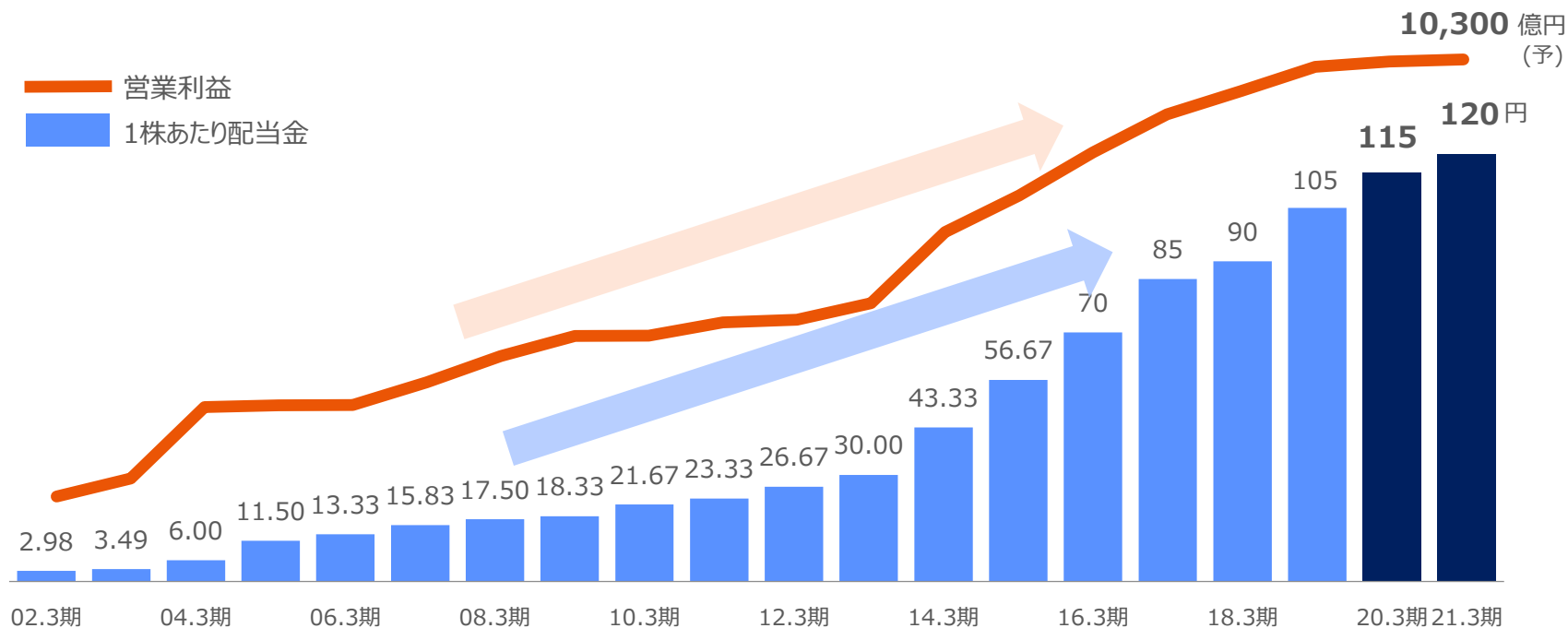
国内経済力の回復・成長のためのDXの推進

- 段階的なリアル社会の経済回復を補うネット社会との融合
- ベンチャーから大企業まで幅広いアライアンスによるビジネスモデル創造
- 国民の安全で安心な生活と経済活動を支える「新しい社会基盤」の整備

日本社会に必要な設備投資を継続



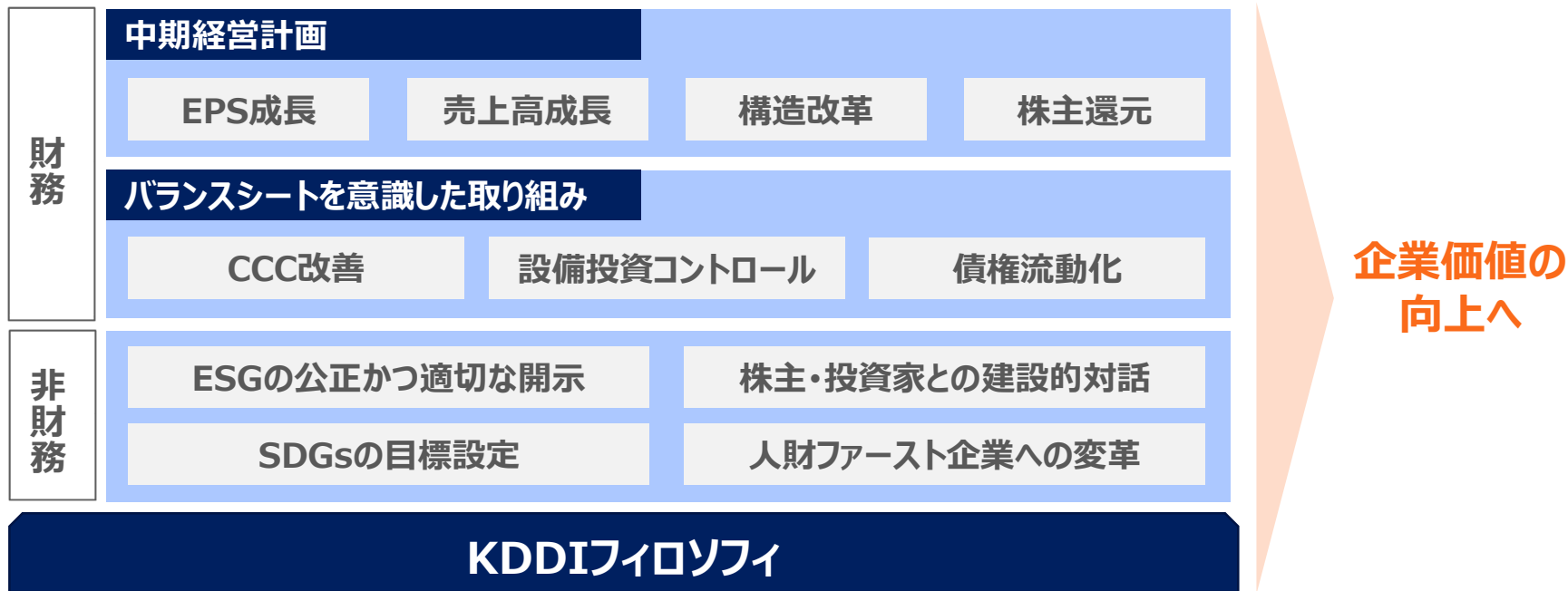
1株当たり配当金



19期連続DPS成長を目指す

注) 20.3期、21.3期の1株当たり配当金は予想

企業価値最大化に向けて



財務・非財務両面の取り組みにより企業価値最大化を目指す

サマリー

中期経営 計画

- ✓ 引き続き「持続的成長と株主還元強化の両立」を目指す
- ✓ 成長領域の拡大と筋肉質経営の両輪で財務項目を強化
- ✓ SDGsなど非財務項目の取り組みにより経営基盤を強化

連結業績

- ✓ 20.3期：増収増益を達成。持続的成長に向け着実に推進
- ✓ 21.3期：環境変化を吸収し、業績は前年度同水準を予想

事業戦略

- ✓ au PAYを中心にお客さま接点を拡大し、エンゲージメントを向上
- ✓ DX推進を通じた基盤事業・新規領域の成長を推進

社会の安定に向けた取り組みと堅実な経営を推進

Appendix



新型コロナウイルス感染症の主な影響

パーソナルセグメント（通信事業）

● 通信サービス



音声 ▶ ビジネスマンの在宅利用や学生の利用が増加し上振れ



モバイル データ ▶ 自宅に留まりオフロード率が増加しているため減少



国際 ▶ 海外渡航制限による国際ローミングサービスの利用減少



固定 ▶ テレワークやオンライン学習等の宅内通信需要の増加

● 端末販売等



端末販売収入減 ▶ 総販売台数の減少に伴う、端末出荷台数の減少





端末販売コスト減 ▶ 総販売台数の減少含め、IFRSベースで減少見込み





代理店支援 ▶ auショップ運営代理店や店頭スタッフに対する支援の実施

新型コロナウイルス感染症の主な影響

パーソナルセグメント（ライフデザイン領域）

- **ECマース** 
 - 外出自粛に伴う需要増加
- **教育・宿泊** 
 - 外出自粛に伴うリアルでのお客さま接点の減少
- **金融** (－)
 - 対面営業の自粛による一部金融商材の獲得減や消費落ち込みによる決済取扱高の減があるものの、ネット金融事業による安定収益により増益傾向は維持する見込み

ビジネスセグメント

- **基盤事業** 
 - 渡航制限による国際ローミング利用の減少・海外SI事業売上の減少
- **中長期的観点** 
 - テレワーク等働き方改革ニーズの加速

その他

- **設備投資** (－)
 - 設計・設定業務については拠点分散、リモートワークにより業務を継続
 - ネットワーク機器の納入・工事影響は現時点では軽微

財政状態計算書 / 貸借対照表

総資産 9.58兆円

・有形固定資産 ・無形資産 ・使用権資産	有利子負債	営業債務及び その他の債務
	金融事業の預金	
	のれん	
営業債権及び その他の債権	資本	
金融事業の 有価証券		
金融事業の 貸出金		
契約コスト		
現金及び 現金同等物	その他	

KDDI(連結)

総資産 2.22兆円

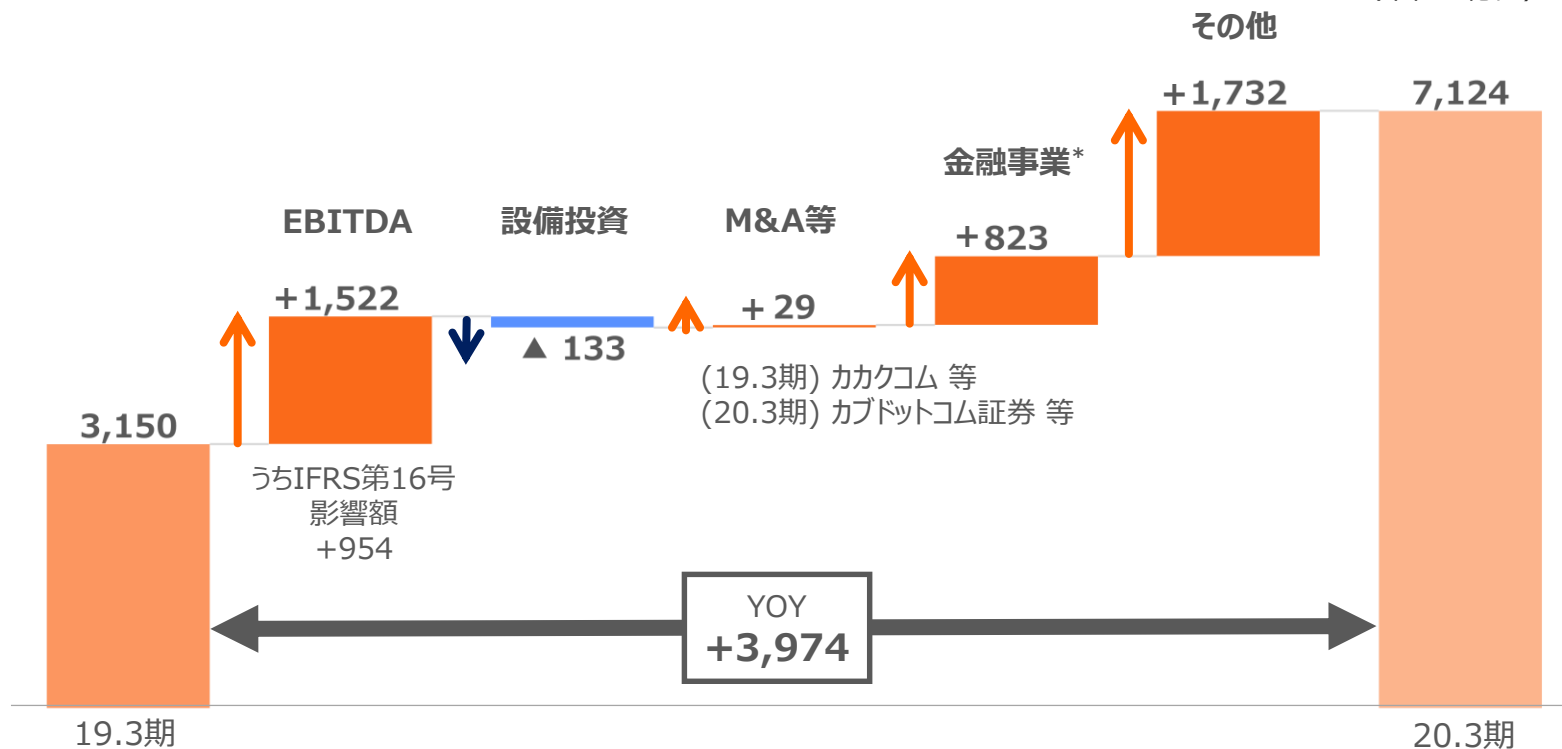
現金預け金	預金
有価証券	
貸出金	その他
その他	

auフィナンシャルホールディングス(連結)

注) KDDI(連結)はIFRS、auフィナンシャルホールディングス(連結)は日本基準にて作成

フリー・キャッシュ・フロー 増減要因

(単位：億円)



* 2020年3月期 決算短信の連結キャッシュ・フロー計算書に記載がある金融事業に関するキャッシュ・フロー + じぶん銀行の支配獲得による収入

Tomorrow, Together

おもしろいほうの未来へ。



免責事項

この配付資料に記載されている業績目標、契約数目標、将来の見通し、戦略その他の歴史的事実以外の記述はいずれも、当社グループが現時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは国内外の経済環境、競争状況、法令・規制・制度の制定改廃、政府機関の行為・介入、新サービスの成否などの不確実な要因の影響を受けます。

従って、実際の業績、契約数、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。